

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 30 年 6 月 14 日	
所属部局・	京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻・博士課程 1 回生
氏名	七五三木 環

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本 鹿児島県 屋久島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
屋久島フィールド実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 30 年 5 月 19 日 ~ 平成 30 年 5 月 25 日 (7 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学霊長類研究所 半谷吾郎博士 (沢田晶子博士、栗原洋介研究員、本田剛章氏)
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>2018年5月19-25日にかけて、屋久島で実施されたフィールド実習に参加した。本実習の目的は、フィールドワークの一環として屋久島においてヤクシマザル (<i>Macaca fuscata yakui</i>) の糞サンプルを集め、島内におけるヤクシマザルの分布を明らかにすることであった。以下、実習スケジュールを記す。</p> <p>5/19 (土) 大阪国際空港→屋久島空港 (空路) 到着後、西部林道にてヤクシマザルを観察、かれらの生態や性、年齢の判別のしかた、糞サンプルの集め方について学ぶ。 屋久島フィールドステーション泊</p> <p>5/20 (日) - 5/22 (火) フィールド調査 屋久島に存在する林道で GPS を用いてルートセンサスを実施し、ヤクシマザルの目視、音声、糞といった情報を収集する。発見場所を GPS 状に記録するとともに、新しいと思われる糞は個別にサンプルを取った (糞サンプルは次週実施される DNA 実習にて使用する)。 屋久島フィールドステーション泊</p> <p>5/23 (水) QGIS の利用について学ぶ。 20-22 日の 3 日間で集めたデータの整理、分析を進め、使用した GPS のデータをもとに QGIS 上でマップを作る。 屋久島フィールドステーション泊</p> <p>5/24 (木) 収集したデータの分析、まとめをおこなう。 午後は植物班のメンバーやアドバイザー含めて実習成果を発表。 屋久島フィールドステーション泊</p> <p>5/25 (金) 屋久島空港→大阪国際空港 (空路)</p> <p>分析の結果、村落や農地から距離があり、森林の割合が高い場所でヤクシマザルが見つかる傾向がみられた。様々な国籍のひとが集まって英語で議論するなかで、自分の語学力強化の必要性を感じた。</p>

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



図 1. 糞サンプル収集の様子



図 2. 糞サンプル

6. その他 (特記事項など)

この実習は、PWS の支援を受けて実施されました。一緒に実習をしたサル班のメンバー、実習を組み立ててくださった PWS 事務員の方々をはじめ、この実習の実施に関わった全ての方に御礼申し上げます。屋久島での実習中、実習指導の面でお世話になった半谷吾郎准教授、沢田晶子研究員、栗原洋介研究員、本田剛章氏には特に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。